

令和8年度 島田市シルバー人材センター事業計画

1 はじめに

少子高齢化の加速による労働力不足が深刻化する中、令和8年度に団塊の世代がすべて後期高齢者となった今日、高齢者の地域活動はこれまで以上重要性を増しています。

当センターは「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、豊富な経験を持つ高齢者に就業機会を提供し、健康維持や生きがい、地域活性化に寄与してまいりました。本年度も、多様な働き方や地域ニーズに柔軟に対応し、高齢者が生き生きと活躍できる場の創出と、地域に信頼される持続可能な組織運営に邁進してまいります。

2 シルバー人材センターの現状と課題

(1) 会員の高齢化と新規会員の確保

会員数 747 人（令和7年12月末）、平均年齢 75.7 歳、70 歳代が全体の 67% を占めるなど高齢化が顕著であり、実就業率の低下や安全管理の強化が喫緊の課題です。全国目標（10 万人増）に呼応し、当センターでも会員年間 15 人増を目標に、進捗を管理しながら取り組んでいきます。

(2) 受注の状況

物価高騰や最低賃金上昇、会員不足による受注制限など、厳しい環境にあります。既存業務の継続的な受注に加え、徹底した安全管理と質の高いサービス提供により、地域からの信頼をさらに高め、持続可能な受注体制を構築します。

(3) センターの運営について

事務手続きのデジタル化や新契約方式への移行、公益法人認定制度改正に伴う外部役員の導入など、法改正への的確な対応とともに、公正で透明性の高い組織運営を推進します。あわせて事務局職員の資質向上と法令・ルールの徹底した遵守を図り、健全な財務基盤を確立します。

3 基本方針

以下の6項目を柱として、会員の就業機会の充実、組織の信頼性向上、地域との連携強化を推進します。

- (1) 就業機会の確保
- (2) 会員の仲間づくりの推進
- (3) 安全・適正就業の推進
- (4) 組織の合理化と財政運営適正化の推進
- (5) 社会奉仕活動などへの積極的な参加
- (6) 普及啓発の推進

4 事業実施計画

(1) 就業機会の確保

ハローワークや行政、地域企業と連携を深め、会員の専門知識やスキルを活かせる職域の開拓に注力します。

- ① 就職説明会・合同面談会への参加によるマッチングの拡大。
- ② 家事援助、見守りなど高齢化社会のニーズに即した新分野の開拓。
- ③ 「ワンコインサービス事業」の適正運用による、地域の困りごとへの迅速な対応。

(2) 会員の仲間づくりの推進

サークル活動や女性対象講座の継続を通じ、会員相互の交流と定着を図ります。

- ① サークル活動補助金による9組織の支援継続と新たなグループ組成の促進。
- ② 女性会員の拡大と退会抑制につながる魅力的な講座の実施。

(3) 安全・適正就業の推進

就業事故「ゼロ」を目指し、組織的な安全対策を最優先事項として推進します。

- ① 事故原因の徹底分析と共有、安全就業パトロールによる厳格な点検・指導。
- ② 安全就業スローガンの募集を通じた、センター全体の安全意識の醸成。

(4) 組織の合理化と財政運営適正化の推進

デジタル活用と適正な管理体制により、透明性の高い経営を実現します。

- ① AI等の活用による事務負担の軽減。
- ② フリーランス新法への対応支援と、会員専用サイトの登録促進。
- ③ 外部役員の登用による公正な組織運営。

(5) 社会奉仕活動などへの積極的な参加

地域貢献を通じてセンターへの信頼を深め、会員同士の一体感を醸成します。

- ① 「普及啓発月間」等における公共施設の除草清掃ボランティアの実施。
- ② 「しまだ大井川マラソン in リバティ」でのボランティア協力。

(6) 普及啓発の推進

デジタルとアナログを組み合わせた広報戦略により、センターの存在感を高めます。

- ① ホームページや公式ライン、マスコミへの情報提供を通じた活動の発信。
- ② 島田産業まつり等のイベント参加による、地域住民との直接交流と理解促進。